

## 中学生の「税についての作文」

大木町教育長賞

### 税の必要性について

大木町立大木中学校

三年 田 中 志穂美

買い物をする際に「なぜ、消費税を払う必要があるのか」と思ってしまったことはありませんか。私は、思ったことがあります。しかし、税を納めることには意味があるから、税の必要性について考えてみました。

まず、私たちのくらしの中での税は約五十種類の税があるそうです。その使い道は、普通税と目的税の二種に分れます。普通税は税金の使いみちが決められていないもので、目的税は使いみちが決められているものです。税には目的があり集められていることを初めて知りました。

次に、税金はどのように使われているのかについて考えました。税金は学校教育の振興や保健・医療・福祉の充実、生活の安全の維持、道路や交通機関の整備、文化・スポーツの振興、産業の振興、環境の保護や整備に役立っています。税金は、私たちに関わるたくさんの方に役に立っていることにおどろきました。例えば、私たちは中学生なので学校教育の振興だと、小学校・中学校・高校の建設、義務教育期間の

教科書が無償で支給するなどが行われています。教科書は普通の値段だと高いと思います。しかし、この税金のおかげで私たちは不自由なく学習ができています。だから、ありがたい気持ちを忘れずに勉強しようと思えました。

税金を払うことは、嫌になるときもあると思いますが、この考え方が税を学んで変わりました。今までは、税のことにまつてはよく分かりませんでした。税の種類はたくさんあるし、こんなものにも税がつくのかなどとおどろくことがたくさんありました。

私は最もおどろいたことが一つあります。それは、「国際協力に使われる税金」というものがあるということです。税金が国民のためだけに使われているものではないと初めて知りました。国際社会の平和を願って、世界の人々のために支援することも国の大切な仕事だそうです。世界には、たくさんの人々が貧困や飢餓に苦しみ、人が亡くなつてゆく国があることは知っています。その国、その人たちのための支援に税金を使っているのは、初めて知ったし、とてもよい事だと思います。税金を通して、日本が他の国のためになつていくこと、日本と発展途上国との交流が行われていることは、世界の人たちと仲良くなれ、世界平和に少しでも近づくことができる第一歩だと思います。

税について学んで、今までは税の考え方が変わりました。今までは、消費税などがつくと、物の価格が高くなるので税なんて必要ないと思っていました。しかし、私たちはまだ中学生で消費税しか払っていないけど、日本の発展のため、発展途上国の方たちの命が少しでもつながるなら、税を払うことは良い事をしていて、とても意味のあるものだと今までの考えと変えることができました。